



が っ こ う

# 学校だより

令和8(2026)年9月28日  
よこはましりつむつうらちゅうがっこう  
横浜市立六浦中学校  
10月号

「だれもが 安心して 豊かに」生活できる学校を目指して  
合言葉は、「六中6つの『あ』」

六中の「いま」をお伝えします。

## 9月までのようす

高校出前説明会



避難訓練



学校保健委員会



7月21日(火)、私立高等学校5校、公立

高等学校5校の先生方にご来校いただき、3  
年生の生徒および保護者を対象に、本年度も  
高校出前説明会を実施しました。各高等学校  
の特色やこれから行われる説明会や体験等  
について高等学校の先生方から直接ご説明  
いただいたことにより、生徒は各高等学校の  
特色や進路選択の進め方について、具体的な  
イメージを持つことができたようでした。

夏休み明けの8月27日(木)は、授業中に  
発生した地震および校舎内の火災、放送機器  
が停電で使用できないことを想定した避難  
訓練を実施しました。生徒たちは担当教諭の  
指示をしっかりと聞き、落ち着いて避難行動に  
取り組むことができました。今後いつ巨大  
地震が発生しても迅速に対応できるよう、  
訓練実施後には振り返りを行いました。

9月14日(月)放課後、学校保健委員会が行  
われました。本年度は学年ごとに調べたい  
テーマを決めて学習を行いました。1年生  
は「けがの予防、睡眠」、2年生は「ストレス」、  
3年生は「夏、冬の健康、海の生き物」につい  
て学習してきたことを報告しました。今回  
学習した内容は、10月の六中祭で展示発表

し、全校生徒に共有されます。全生徒が自分自身の健康的な生活について考えるきっかけ  
にしてほしいと思います。

## 夏休み明けもアカトリドリ ～36 か月間の中学校生活のうちの5～6 か月目～ 36分の5～6

「夏休みのしおり」に目を通すと、中学校生活初めての夏休みを満喫した一端がみられます。猛烈な暑さの中でがんばった部活動、友達と楽しんだプール、家族で団らんをした旅行、大雨に打たれた海の公園の花火大会。さまざまな思い出をポジティブにとらえ、次の生活にいかそうとする姿勢が読み取れました。

毎月撮ることを目標としている学年写真。8月は夏休み明け初日に撮りました。夏休み明け学校に戻ってきた赤学年の笑顔が輝くともいえる写真がとれました。

9月に入るとすぐに定期試験、そして中学校で初めての連絡票を受け取ります。定期試験の期間は、必死で教科書を読む姿、ノートになにやらひたすら書いている姿、提出物の課題に取り組む姿、学習に前向きに取り組む姿がたくさん見られました。

また、定期試験後は、本格的に合唱練習が始まっています。初日は、実行委員が前に出て、目標を決めたり、スケジュールの確認をしたり、クラスで決め事をしたりしました。

合唱コンクール本番は10月15日(木)。金沢公会堂いっばいに広がるアカトリドリな歌声を、同級生、先輩、先生方、保護者の皆様、地域の皆様に届けよう!!という意気込みで練習に励んでいます。

## キャリア教育

働くって・・・? 11月の職業体験に向けて進路の話をしています。「そもそも進路=進学ではない」という話からスタートをし、社会のマナーに触れ、実際の職業体験に向けて、イメージづくりを始めています。中学校の3年間を終えると、働くことがもっと身近になり、バイト先を選んだり、働く意味を深く考えたりする人がでてくることでしょう。大人の一員として自分を磨く作業もここから加速していきます。

夏休みを終え、合唱の練習が本格的に始まるとともに、学校のリーダーとしての準備も始まっています。特に部活動に所属している人たちは自分たちがリーダーとして1年生に背中を見せながら活動を行う日々にし戸惑い、悩んでいる人もいます。学校全体としても2年生がリーダーとなり力を発揮する時間が目の前に迫ってきています。まずは自分のことを理解して、仲間と協力しながらより良い日々を過ごしてほしいです。合唱のパート練習も目標に向かって一つのことを成し遂げる、最初の一步の一つです。日々の生活を丁寧に言うことが、勉強もスポーツも合唱も目標を達成するための礎となります。描く未来に向かって努力あるのみです。

まずはクラスの合唱を金沢公会堂に響かせてくれることを楽しみにしています。

定期テストが終わり、少し時間と心に余裕ができていくかと思えます。ですが、10月は行事が盛りだくさんです。学期が替わり、六中祭(合唱コンクール)が行われます。

前期・後期の節目の時期には、連絡票をもらいます。成績など気になることも多くあると思いますが、一喜一憂せず、やるべきことを集中して進めていきましょう。以前もお伝えしましたが、振り返りが重要です。連絡票を自分の成長を確かめる材料として活用し、自分の頑張りを認めた上で、後期に向けて改善できることを具体的に探していきましょう。合唱コンクールに向けて、現在クラス一丸となって練習に励んでいることと思います。得意・苦手や考え方の違いがある中で、意見がぶつかることもあるでしょう。自分の意思をしっかりと伝え、同時に「自分とは違う相手の考えや個性」を尊重して耳を傾ける姿勢は、人と人が共に生きていく上で非常に重要です。衝突を恐れず、互いの「違い」を認め合い、支え合える関係を築いていきましょう。

最後に、心に残った言葉を載せておきます。

「失敗したからって何なの？ 失敗から学びを得て、また挑戦すればいいじゃないか。」 (ウォルト・ディズニー)

自分の失敗を恐れずに挑戦することはもちろん、周りの友達の失敗や悩みをも温かく受け入れ、互いに何度でも挑戦し合える、そんな安心できるクラス・学校をみんなでつくっていきましょう。

## 未来をつくる六中祭・合唱コンクール

前期末の定期テストも終わり、夏休みが明けてから約1ヵ月が経過しました。前期もまとめの時期に入っています。テスト後に学級委員会が企画をした学年レクでは、笑顔がはじけました。とても楽しい時間を学年全体で共有することができました。みんなで一つの事を楽しめるのは、本当に素敵なことです。そして、六中祭の合唱コンクールに向けた練習が始まりました。六浦中学校で3回目のコンクール、そして六浦中学校でさいごのコンクールに向けて、各クラスとても意欲的に練習をしています。昨年度は、中間学年として合唱コンクール全体においても素晴らしいパフォーマンスを発揮することができました。今年度も期待がかかります。合唱の発表の先にある「未来」を見据えて取り組んで欲しいと思っています。自分自身の事・クラスの事・学年の事・後輩達の事・学校の事・そして聴いてくれる家族の事。この取組を通して、さらに一段と前進することを願っています。そして、六中祭では合唱コンクールだけでなく、修学旅行の事後学習で行った最優秀班による発表が、展示の部の日に体育館ステージで発表されます。学年での予選・決勝ラウンドを見事突破した班の発表を是非楽しみにして欲しいです。高校の文化祭や学校説明会へ行った話など、進路の話が日常となっています。今の取組が未来をつくります。合唱も日常生活もファイトです。

かくくらす がっしょうきよく  
＜各クラス合唱曲＞

くみ とき たびと くみ ぐんじょう くみ にじ くみ あお とり  
1組：時の旅人 2組：群青 3組：虹 4組：青い鳥

### 【保護者の皆さま】

先日は、授業参観・懇談会にご参加いただきありがとうございました。また来月には三者面談を予定していますので、ご協力お願い致します。中学校さいごの六中祭が来月予定されています。子ども達の頑張りをぜひ観にいらしてください！

例年より長かった夏休みが終わり、早くも一ヵ月が過ぎようとしています。生徒の皆さんは、休み前までの日常生活を思い出せましたか？その中で定期試験も終えやっと一息ついたのではないかと思います。まだ、休みが抜けきっていない生徒の皆さんは焦らず、慣らしていきましょう。

さて、様々なスポーツの大会が終わった後にインタビュー等が行われます。その際、選手や監督の多くが口にすることばの一つが「支えてくれた方々に感謝しています」や「応援(サポーター)のおかげです」などの周囲への感謝の言葉です。感謝の気持ちを持つことは非常に重要なことだと思います。例えば中学生がサッカーの大会に出場するとして「朝自分よりも早く起きてお弁当を作ってくれる保護者」がいて、「大会会場に選手よりも先に到着し会場準備を整えてくれる先生やスタッフ」がいて、「試合前～試合中にかけて選手がベストを出せるように指示やアドバイスをくれる顧問や指導者」がいて、「試合が安全かつ公平に行われるように審判の方」がいて「応援してくれる様々な人」がいて…などなど挙げたらきりがありませんが、一試合を多くの方が支えています。大切なのは皆さんが、そんな支えている(くれている)方々に感謝の気持ちをもてば、世の中はもっとみんなが気持ちよく生活ができると思います。自分の当たり前を支えてくれている方に「ありがとう」という感謝の言葉を伝えて、幸せな気持ちになる人を増やしていきたいですね。